

2021年3月期 第3四半期 決算説明会

---

# 東海旅客鉄道株式会社

2021年1月29日

## 2021年3月期 第3四半期 実績 (連結)

2

(億円)

	2020年3月期 3Q累計 A	2021年3月期 3Q累計 B	増減 (B-A)	主な増減要因
営業収益	14,480	6,030	△8,449	
運輸業	11,352	4,017	△7,334	(一) JR東海(運輸業)
流通業	1,996	1,211	△785	(一) JR東海高島屋、東海キヨスク
不動産業	605	517	△87	(一) JR東海関西開発、JRセントラルビル
その他	1,709	1,608	△100	(一) JR東海ホテルズ、JR東海ツアーズ
営業費	8,360	6,966	△1,393	
営業損益	6,119	△935	△7,055	
運輸業	5,812	△882	△6,694	(一) JR東海(運輸業)
流通業	71	△103	△174	(一) 東海キヨスク、JR東海高島屋
不動産業	167	115	△52	(一) JRセントラルビル、 名古屋ステーション開発
その他	66	△42	△109	(一) JR東海ホテルズ、JR東海ツアーズ
経常損益	5,556	△1,477	△7,034	
親会社株主に帰属する 四半期純損益	3,881	△1,114	△4,996	

※セグメント別の内訳はセグメント間取引の相殺消去を行う前の数値です。内訳の合計値は営業収益・営業利益と一致しません。

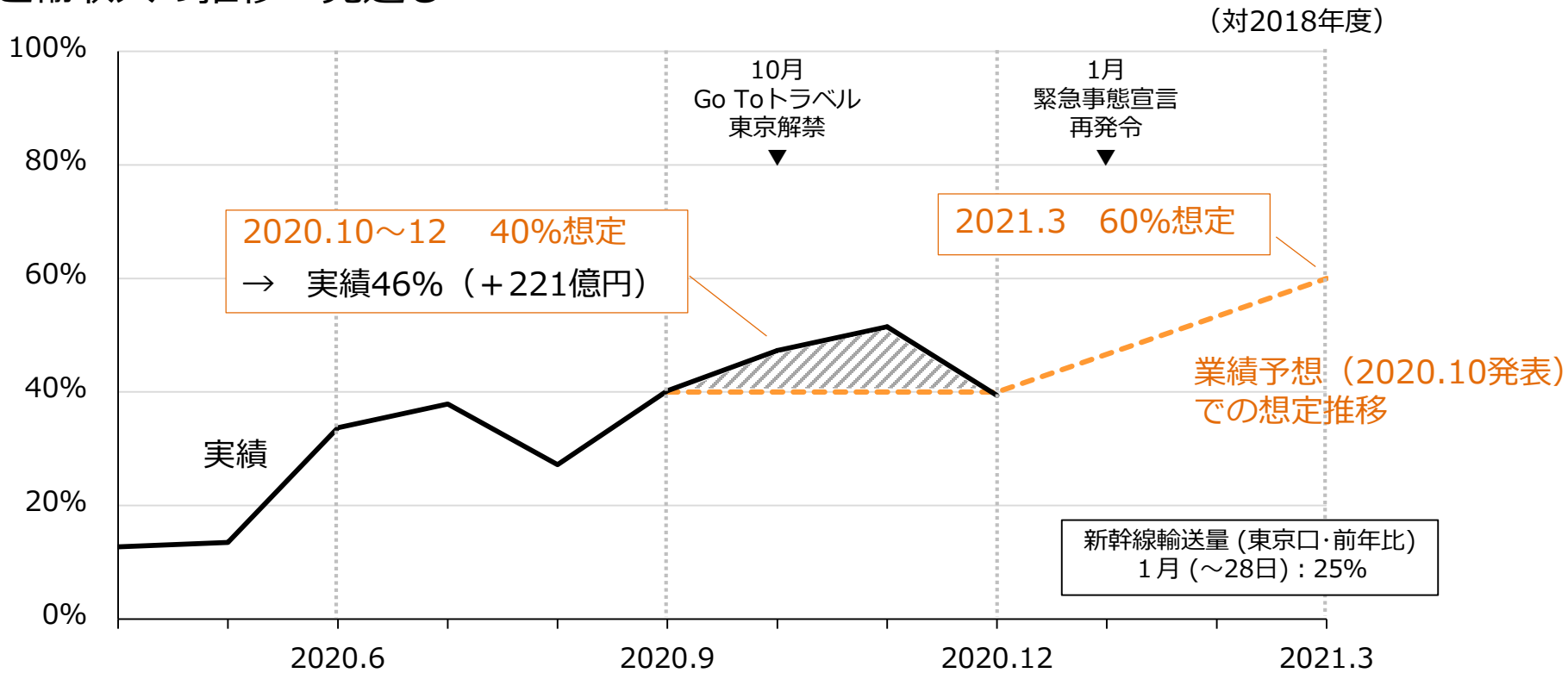
# 2021年3月期 第3四半期 実績 (単体)

3

(億円)

	2020年3月期 3Q累計 A	2021年3月期 3Q累計 B	増減 (B-A)	主な増減要因
営業収益 (運輸収入)	11,394 (10,874)	4,084 (3,590)	△7,310 (△7,284)	
営業費	5,540	4,907	△632	
人件費	1,324	1,255	△69	賞与の減、等
物件費	2,451	2,085	△366	
動力費	330	289	△40	車両走行キロの減、等
修繕費	744	669	△74	大規模改修、技術開発関連、等
業務費	1,377	1,125	△251	発売手数料の減、 広告宣伝費の減、等
租税公課	319	244	△75	事業税の減、等
減価償却費	1,444	1,322	△122	山梨リニア実験線、 車両・地上設備、等
営業損益	5,854	△823	△6,677	
経常損益	5,277	△1,396	△6,674	
四半期純損益	3,704	△979	△4,683	

## ◆ 運輸収入の推移・見通し



## ◆ 新型コロナウイルス感染症の収入への影響

- ・ 営業収益 (単体) への影響 :  
△7,310億円程度
- ・ 営業収益 (連結) への影響 :  
△8,420億円程度

(参考) 各セグメントにおける影響

セグメント	収入への影響	概要
運輸業	△7,340億円程度	運輸収入の減、等
流通業	△800億円程度	百貨店・店舗売上の減、等
不動産業	△80億円程度	各地区における駅ビル収入の減、等
その他	△190億円程度	宿泊収入や旅行商品収入の減、等

# コスト削減の取組み

○極めて厳しい経営環境が続く中、安全・安定輸送に支障しない範囲でコスト削減を強力に推進。

○3Q時点で損益として、連結合計で約410億円の削減を実施。  
 (当社単体で約300億円、グループ会社で約110億円)

(億円)

		通期 削減計画	3Q時点 削減額	概要
当社	損益	400	300	賞与の減、大規模改修工事、 広告宣伝の見直し、動力費の減、等
	設備投資	150 付帯損益80含む	—	(期末決算で開示)
グループ	損益	130	110	広告宣伝の見直し、賞与の減、 業務委託の減、等
	設備投資	80	—	(期末決算で開示)
合計		680 (※) 付帯損益80を除外	410	

※ 当社の設備投資には付帯損益を含むため、個別の積み上げは合計と一致しない

本資料に記載されている将来の計画や予想数値等は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の経営成績、業績等は、本資料の予想値と大きく異なる結果となる可能性があります。潜在的なリスクや不確実性の例としては、経済動向や事業環境、消費動向、当社および子会社における他社との競合状況、法律や規制等の変更、自然災害等が挙げられます。

# (参考) 運輸セグメント

(単位:億円)	2020.3 3Q実績	2021.3 3Q実績	対前年
営業収益	11,352	4,017	△7,334 35.4%
営業費	5,539	4,899	△640 88.4%
営業損益	5,812	△882	△6,694 —

2020.3 実績	2021.3 計画	対前年
14,312	5,730	△8,582 40.0%
8,136	7,520	△616 92.4%
6,176	△1,790	△7,966 —

## 2021.3 3Q実績 主な増減要因

- JR東海の運輸収入の減等により、減収減益。



## 2021.3計画 主な増減要因

- JR東海の運輸収入の減等により、減収減益。

# (参考) 流通セグメント

(単位:億円)	2020.3 3Q実績	2021.3 3Q実績	対前年
営業収益	1,996	1,211	△785 60.7%
営業費	1,924	1,314	△610 68.3%
営業損益	71	△103	△174 —

2020.3 実績	2021.3 計画	対前年
2,632	1,770	△862 67.2%
2,558	1,900	△658 74.3%
74	△130	△204 —

## 2021.3 3Q実績 主な増減要因

- JR東海高島屋の百貨店売上の減や東海キヨスクの店舗売上の減等により、減収減益。

## 2021.3計画 主な増減要因

- JR東海高島屋の百貨店売上の減や東海キヨスクの店舗売上の減等により、減収減益。



# (参考) 不動産セグメント

(単位:億円)	2020.3 3Q実績	2021.3 3Q実績	対前年
営業収益	605	517	$\Delta 87$ 85.5%
営業費	437	402	$\Delta 35$ 91.9%
営業損益	167	115	$\Delta 52$ 68.9%

2020.3 実績	2021.3 計画	対前年
799	700	$\Delta 99$ 87.5%
609	570	$\Delta 39$ 93.5%
190	130	$\Delta 60$ 68.4%

## 2021.3 3Q実績 主な増減要因

- 各地区における駅ビル収入の減等により、減収減益。

## 2021.3計画 主な増減要因

- 各地区における駅ビル収入の減等により、減収減益。

# (参考) その他セグメント

(単位:億円)	2020.3 3Q実績	2021.3 3Q実績	対前年
営業収益	1,709	1,608	$\Delta 100$ 94.1%
営業費	1,642	1,651	+9 100.6%
営業損益	66	$\Delta 42$	$\Delta 109$ -

2020.3 実績	2021.3 計画	対前年
2,722	2,470	$\Delta 252$ 90.7%
2,587	2,510	$\Delta 77$ 97.0%
135	$\Delta 40$	$\Delta 175$ -

## 2021.3 3Q実績 主な増減要因

- JR東海ホテルズの宿泊収入やJR東海ツアーズの旅行商品収入の減等により、減収減益。

## 2021.3計画 主な増減要因

- JR東海ホテルズの宿泊収入やJR東海ツアーズの旅行商品収入の減等により、減収減益。

# (参考) 主な子会社の実績、業績予想 (連結修正前)

## ○実績

(億円)

	営業収益			営業損益			経常損益		
	2020.3 3Q実績	2021.3 3Q実績	前期比	2020.3 3Q実績	2021.3 3Q実績	前期比	2020.3 3Q実績	2021.3 3Q実績	前期比
JR東海高島屋	1,045	704	67.3%	32	△16	—	34	△15	—
JRセントラルビル	242	221	91.3%	41	30	73.4%	39	28	71.9%
JR東海ホテルズ <sup>※</sup>	201	88	44.0%	11	△52	—	12	△47	—
日本車両	659	701	106.5%	49	42	85.6%	51	44	86.5%
				日本車両	四半期純利益		81	41	50.6%

## ○業績予想 (2021年1月29日現在)

(億円)

	営業収益				営業損益				経常損益			
	2020.3 実績	2021.3 計画 (Q2時点)	2021.3 計画 (Q3時点)	Q3時点 Vs Q2時点	2020.3 実績	2021.3 計画 (Q2時点)	2021.3 計画 (Q3時点)	Q3時点 Vs Q2時点	2020.3 実績	2021.3 計画 (Q2時点)	2021.3 計画 (Q3時点)	Q3時点 Vs Q2時点
JR東海高島屋	1,437	1,020	1,020	変更なし	45	△14	△14	変更なし	47	△12	△12	変更なし
JRセントラルビル	327	296	296	変更なし	40	20	20	変更なし	37	17	17	変更なし
JR東海ホテルズ <sup>※</sup>	249	118	118	変更なし	0	△76	△76	変更なし	2	△71	△71	変更なし
日本車両	927	950	950	変更なし	83	57	57	変更なし	85	60	60	変更なし
					日本車両	四半期純利益	123	54	54	変更なし		

# (参考) 輸送量の推移 (月次利用状況)

◆月次利用状況 Monthly passenger volume

(%)

期間 Period	新幹線 Shinkansen						在来線 Conventional Railway	
	東京口 Tokyo Gate				大阪口 Osaka Gate		特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area
	合計 Total	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	平日 Weekdays	土休日 Weekends		
20/04	10	10	8	15	12	7	10	43
20/05	10	10	9	13	12	8	9	36
20/06	28	28	25	32	29	26	29	67
FY 1Q	16	16	14	20	18	12	15	49
20/07	32	32	27	36	35	27	28	68
20/08	25	25	22	32	27	23	24	60
20/09	38	39	32	41	37	40	38	72
FY 2Q	32	32	27	36	33	30	30	67
FY 1H	24	24	20	28	26	21	23	57
20/10	46	47	37	49	44	48	49	79
20/11	50	52	42	48	50	50	54	72
20/12	39	39	34	42	39	37	45	70
FY 3Q	45	46	38	46	44	46	50	74
年度累計 FY Total	31	31	26	34	32	28	32	63

(注) 新幹線・在来線特急等は特定の駅間における月累計断面輸送量の対前年比。

在来線名古屋近郊は自動改札集計による乗車人員合計の対前年比。※多客期においては定期外の乗車人員に限る。

Note: The data of the Shinkansen and Express is based on the total passenger volume of each month at certain points.

The data of the Nagoya area is based on the passenger ridership of each month counted by automatic ticket gates.

※The data of the Nagoya area regarding the peak holiday seasons is based on the passenger ridership excluding commuter passes.

# (参考) 輸送量の推移 (多客期利用状況)

## ◆多客期利用状況 (東京口) Passenger volume during the peak holiday seasons (Tokyo Gate)

### ・ゴールデンウィーク “Golden Week” Holidays

期間 Period	新幹線 Shinkansen				在来線 Conventional Railway	
	合計 Total	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area
4/24~5/6	6	5	5	7	4	16

### ・お盆期間 Summer Holidays

期間 Period	新幹線 Shinkansen				在来線 Conventional Railway	
	合計 Total	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area
8/7~8/17	24	24	20	30	24	42

### ・年末年始 Winter Holidays

期間 Period	新幹線 Shinkansen				在来線 Conventional Railway	
	合計 Total	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area
12/25~1/5	32	33	27	33	35	53

(注) 新幹線・在来線特急等は特定の駅間における月累計断面輸送量の対前年比。

在来線名古屋近郊は自動改札集計による乗車人員合計の対前年比。※多客期においては定期外の乗車人員に限る。

Note: The data of the Shinkansen and Express is based on the total passenger volume of each month at certain points.

The data of the Nagoya area is based on the passenger ridership of each month counted by automatic ticket gates.

※The data of the Nagoya area regarding the peak holiday seasons is based on the passenger ridership excluding commuter passes.

# (参考) 月次営業概況 (商業施設・ホテル)

## ◆ 商業施設 Commercial Facilities

	ジェイアール名古屋タカシマヤ、及び タカシマヤ ゲートタワーモール  JR Nagoya Takashimaya and Takashimaya Gate Tower Mall	
期間 Period	売上高合計 2021年2月期 (百万円)  Total Sales FY2020: 2020.3~2021.2 (Millions of Yen)	前年同月比 (%)  YoY Comparison
20/03	9,489	62.1
20/04	2,758	21.1
20/05	4,036	32.6
20/06	11,019	80.8
20/07	10,642	79.6
20/08	7,723	64.7
20/09	10,436	65.5
20/10	11,717	105.6
20/11	12,245	88.9
20/12	15,008	83.2

## ◆ ホテル Hotels

	名古屋マリオットアソシアホテル Nagoya Marriott Associa Hotel		名古屋JRゲートタワーホテル Nagoya JR Gate Tower Hotel (※1)	
期間 Period	稼働率 (%) Occupancy Rate	前年同月比 増減 YoY Inc./Dec.	稼働率 (%) Occupancy Rate	前年同月比 増減 YoY Inc./Dec.
20/04	18.6	-66.9	23.7	-72.7
20/05	16.7	-62.5	-	-
20/06	25.7	-50.1	27.3	-64.2
20/07	29.7	-47.4	42.8	-52.8
20/08	37.6	-38.0	46.1	-51.0
20/09	49.2	-30.0	67.3	-26.4
20/10	70.1	-18.5	85.4	-10.0
20/11	71.4	-18.7	90.5	-6.3
20/12	53.0	-28.8	71.7	-20.5

(※1) 名古屋JRゲートタワーホテルは4月13日から5月31日まで休業したため、4月は12日までの実績。

Note1:Nagoya JR Gate Tower Hotel was closed from April 13th to May 31st. The figure for April show the results up to April 12th.

(※2) 各月の数値は速報値のため、確定値とは異なる場合がある。

Note2:The number for each month comes from a quick estimation, which might differ from the actual results.